

## 「ドン・キホーテ・ウィーク・イン・神奈川大学」について

～資料 ハビエル・サン・ホセ・レラ教授（サラマンカ大学）による

記念講演「21世紀に生きるドン・キホーテ—歴史と現代」～

2005年は神奈川大学外国語学部設立40周年の年であるとともに、スペインが世界に誇る小説（セルバンテス著『才知あふるる郷土ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャEl Ingenioso Hidalgo Don Quijote de la Mancha』の出版400周年の年でもある。この2つの出来事を記念するため、スペイン語学科・〈ドン・キホーテ・プロジェクト〉は、下記のプログラムによる「ドン・キホーテ・ウィーク・イン・神奈川大学（スペイン語ではSemana Cervantina en la Universidad de Kanagawa）を企画し実行した。以下、同プログラムの概要を記すとともに、資料として、この催しのため本学の国際学術交流提携校であるスペイン・サラマンカ大学から招聘したハビエル・サン・ホセ・レラ（Dr. Javier San José Lera）教授による記念講演（全文）を掲載する。

青木康征

### ドン・キホーテ・ウィーク・イン・神奈川大学

期 間：2005年11月25日～12月2日

場 所：神奈川大学横浜（六角橋）キャンパス

催 事：I）講演会

2005年11月25日（金）10：30～12：00 20-310講堂

「ドン・キホーテの魅力」 岩根暁和（スペイン語学科教授）

2005年11月25日（金）14：40～16：10 23-203講堂

「セルバンテスとインディアス」 青木康征（スペイン語学科教授）

2005年12月1日（木）10：45～12：00 7-34講堂

“Vitalidad del Quijote en el siglo XXI—Historia y Modernidad”

（邦題「21世紀に生きるドン・キホーテ—歴史と現代」）

ハビエル・サン・ホセ・レラ（サラマンカ大学スペイン文学科教授）

II）スペイン語学科生による語劇

2005年12月2日（金）13：40～15：00 16号館セレストホール

“Don Quijote”（R. アスコーナ／M.スカパーロ翻案／V. カルテロン・デ・ラ・バルカ脚色）

加えて、学科教員はそれぞれ普段の授業のなかでドン・キホーテについての認識や知識を啓発し涵養する場を設けたほか、学科関連ゼミナール生をはじめとする多くの学科生の協力を得て、つぎの諸作業にも取り組んだ。1）2005年12月2日に上演した語劇「ドン・キホーテ」のDVD版製作、2）同語劇「ドン・キホーテ」の上演にいたるまでの舞台裏（検討会、稽古場面、裏方作業など）を映像化したDVDの製作 3）既存のスペイン語劇場用映画「ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ」の日本語字幕付きDVDの製作、など。

さらにまた、これらのアクティビティと並行して、神奈川大学図書館の企画による〈外国語学部設立40周年記念 ドン・キホーテ（前篇）出版400周年展〉が、2005年11月中旬から2006年3月末日まで、同館展示コーナーにおいて開催された。

（あおき・やすゆき プロジェクト・コーディネータ）